

日本スピリチュアルケア学会
人材養成講座認定

1. 基礎データ

組織名（和文）	東北大学大学院文学研究科実践宗教学寄付講座	
組織名（英文）	Department of Practical Religious Studies, Graduate School of Arts and Letters, Tohoku University	
代表者氏名	鈴木 岩弓	e-mail: iwayumi@m.tohoku.ac.jp
事務担当者氏名	谷山 洋三	e-mail: tanim@m.tohoku.ac.jp
組織所在地	仙台市青葉区川内 27-1	電話 : 022-795-3831 e-mail: j-shukyo@g.mail.tohoku-university.jp
設立年	2012 年	
沿革	2012 年 4 月	東北大学大学院文学研究科に実践宗教学寄付講座が開設される
	2012 年 10～11 月	第 1 回臨床宗教師研修開催
	2013 年 2～3 月	第 2 回臨床宗教師研修開催
	2013 年 4～7 月	第 3 回臨床宗教師研修開催
	2013 年 6 月	第 1 回フォローアップ研修開催
	2013 年 10～12 月	第 4 回臨床宗教師研修開催
	2014 年 3 月	第 2 回フォローアップ研修開催
組織の目的、ミッション・ステートメント等		
<p>「臨床宗教師」は、公的な役割を果たす「宗教的ケア」の専門家である。この研修は、宗教者としての全存在をかけて人々の苦悩や悲嘆に向き合い、そこから感じ取られるケア対象者の宗教性を尊重し、公共空間で実践可能な「宗教的ケア」を学ぶことを目的とする。そのために次の四点を習得することを目指す。</p> <p>①「傾聴」と「スピリチュアルケア」の能力向上 ②「宗教観対話」「宗教協力」の能力向上 ③宗教者以外の諸器官との連携方法を学ぶ ④幅広い「宗教的ケア」の提供方法を学ぶ</p>		

2. 教育担当一覧

1) グループワーク、スーパービジョン、演習等担当者

	氏名 (Name)	就任年	主担当科目 (2科目まで)
1	谷山 洋三 Taniyama Yozo	2012	会話記録 ロールプレイ
2	小西 達也 Tatsuya Konishi	2012	会話記録 ロールプレイ
3	森田 敬史 Morita Takafumi	2012	会話記録 ロールプレイ
4	打本 弘祐 Uchimoto Kouyu	2012	会話記録 ロールプレイ
5	伊藤 文雄 Ito Fumio	2012	会話記録 ロールプレイ
6	金田 諦應 Kaneta Taio	2012	会話記録 ロールプレイ
7	窪寺 俊之 Kubotera Toshiyuki	2012	会話記録
8	伊藤 高章 Ito Takaaki	2012	会話記録
9	高橋 悦堂 Takahashi Etsudo	2012	会話記録 ロールプレイ
10	三浦 紀夫 Miura Norio	2013	会話記録 実習指導
11	竹中 史江 Takenaka Fumie	2013	会話記録 実習指導
12	鍋島 直樹 Nabeshima Naoki	2013	会話記録 ロールプレイ
13	緒方 宏明 Ogata Hiroaki	2013	会話記録
14	立野 泰博 Tateno Yasuhiro	2013	会話記録

2) 講義課目等 担当者

	氏名 (Name)	就任年	主担当科目 (2科目まで)
1	谷山 洋三 Taniyama Yozo	2012	スピリチュアルケア論 グリーンケア

2	小西 達也 Tatsuya Konishi	2012	臨床宗教師の倫理 スピリチュアルケア
3	森田 敬史 Morita Takafumi	2012	ビハーラ
4	伊藤 文雄 Ito Fumio	2012	臨床宗教師の理念
5	高橋 悦堂 Takahashi Etsudo	2013	地域と文化
6	金田 諦應 Kaneta Taio	2012	カフェデモンク
7	三浦 紀夫 Miura Norio	2013	ビハーラ 臨床宗教師の社会実装
8	伊藤 高章 Ito Takaaki	2012	公共性の確保
9	鈴木 岩弓 Suzuki Iwayumi	2012	民間信仰論 スピリチュアリティ論
10	高橋 原 Takahashi Hara	2012	実践宗教学 スピリチュアリティ論
11	木村 敏明 Kimura Toshiaki	2012	宗教間対話

3. 人材養成講座領域 充当表

時間	科目名（他団体からの借入科目の場合は提供団体名／その他、備考）
＜基礎領域＞	
思想・宗教・伝統・文化 36 時間	日本を中心としつつ、広く人類の思想・宗教・伝統・文化に関する基礎的な知識を持つと同時に、その中におけるケア提供者自身を基盤づけているスピリチュアリティの位置づけと特徴についての深い理解に繋がる教育。特に、ケアの基礎となる、共同体と個人との関係について、その変遷や潜在的な可能性への洞察力を養う教育。
	以下の A、または B+C を満たすこと A：宗教者としての実務経験 3 年以上、または所属教団の教師資格 B：臨床宗教師研修における次の科目を 3 時間以上 「実践宗教学」「民間信仰論（＝民間信仰、現代宗教論）」 「地域と文化」「宗教間対話」 C：高等教育機関における宗教学系科目を 4 単位以上
心理・力動・援助 36 時間	個人の成長に関わる個人因子と環境因子への理解、対人関係における社会学的心理学的メカニズムの理解、援助関係における「権力」構造の理解のための教育。社会構築、言語と解釈、非指示的療法、傾聴、パターンリズム、自立・自律、投影、転移・逆転移等の基本概念の教育。
	以下の A、または B+C を満たすこと A：医療・福祉の国家資格、または心理系公的資格 B：臨床宗教師研修における次の科目を 12 時間以上 「カフェデモンク」「人権擁護」「臨床宗教師の理念」「臨床宗教師の倫理」 「宗教的ケア」「スピリチュアルケア」「グリーフケア」「あいまいな喪失」 「被災地支援」「放射能の影響」「精神保健と医療」「会話記録の作成」 「在宅緩和ケア」「公共性の確保」 C：高等教育機関における医療・福祉・心理系科目を 4 単位以上
＜専門領域 A＞	
スピリチュアリティ論 24 時間	思想・宗教・伝統・文化の歴史性・多様性に基づく、スピリチュアリティの体系的教育
22.5 22.5 22.5 24	東北大学大学院文学研究科 「人文社会科学研究（臨床死生学）」（＝死と宗教） 同「人文社会科学研究（宗教と心理Ⅰ）」（＝宗教心理学入門） 同「人文社会科学研究（宗教と心理Ⅱ）」（＝宗教と心理療法） 上記から計 24 時間以上、または 臨床スピリチュアルケア協会と共同開催する「専門演習」該当科目
スピリチュアルケア論	援助者・対象者間のスピリチュアリティの力動に基づく、ケアの体系的

24 時間		教育
22.5	同「人文社会科学研究（スピリチュアルケア論）」（＝スピリチュアルケアの宗教心理学）	
22.5	同「人文社会科学研究（グリーンケア論）」	
24	上記から計 24 時間以上、または 臨床スピリチュアルケア協会と共同開催する「専門演習」該当科目	
＜専門領域 B＞		
グループワーク	心理およびスピリチュアリティの次元でおこる、自己および他者の内的力動と対人的力動を体験的に理解し、効果的にケアを提供できる能力を養う教育	
臨床スーパービジョン	スピリチュアルニーズを理解しケアする臨床力を、個人スーパービジョンならびにグループスーパービジョンをとおして育成する教育	
60/120 時間		
16-28	臨床宗教師研修における次の科目を 16 時間以上 「悲嘆」「実習振り返り」「ロールプレイ」「傾聴」「死の体験（喪失体験）」 「研修振り返り」「日常儀礼」「会話記録」	
11-20	フォローアップ研修におけるグループワークを 11 時間以上	
3/6	個人スーパービジョン（1 時間×3）※	
30/87	各支部における会話記録検討会※ を 30 時間以上	
※東北大学文学研究科「人文社会科学研究（応用死生学実習）」		
臨床実習	スピリチュアルケアが求められる医療・福祉・教育・産業その他の、臨床現場におけるチームケアに参加する。	
120/240 時間		
14-34	臨床宗教師研修における次の科目を 14 時間以上 「傾聴実習」「追悼巡礼（行脚）」「見学」	
106/226	臨床実習（布教伝道を目的としない活動）	
＜専門領域 C＞		
スピリチュリティの涵養	援助者各自のスピリチュアリティを育成する教育	
3	各支部での特別講習会	
3	フォローアップ研修	
継続教育	臨床活動を行う援助者を継続的にサポートし専門性を維持するための教育	
6	各支部での定期勉強会	

臨床宗教師 学会資格認定プログラム

東北大学大学院文学研究科「実践宗教学寄付講座」は、臨床宗教師研修修了者のさらなる研鑽の機会を提供し、日本スピリチュアルケア学会に資格申請するためのプログラムを実施します。そのプロセスと概要は以下の通りです。

1. 臨床宗教師研修（約 80 時間）を修了

2. 臨床実習開始（106 時間以上）

臨床宗教師研修の実習先に、ボランティアとして参加することもできますが、居住地の近くに無い方、そして新たな活動を展開したいという方は、是非実習先を開発してください。

3. 登録（生育歴、人生観・死生観のレポートを提出）

臨床宗教師研修申込時に作成したレポートです。

宗教系・援助系の基礎領域科目の修得についても確認します。

4. 個人スーパービジョン（プログラム修了までに 3 回）

個人面談（1 回 1 時間）を行います。最初の面談で、プログラム登録の可否を判断します。事前に面談担当者との日程調整が必要です。会話記録を 2 回提出してもらいます。

5. 各支部で開催される会話記録検討会（30 時間以上）、勉強会、特別講習会に参加

現在は、東北、関東、関西、九州に臨床宗教師会の支部があり、それぞれ勉強会などを開催しています（今後も新たな支部が組織されると思います）。

会話記録検討会の開催には、事前にグループワーク担当者と日程調整が必要です。会話記録を 2 回以上提出してもらいます。

勉強会は支部による自主活動で、一般参加も可能です。

特別講習会は、年に 1 度程度、東北大学「実践宗教学寄付講座」との共催で実施します。

6. 専門演習（東京・大阪で開催）、もしくは東北大学大学院文学研究科の指定講義を受講

専門演習は「スピリチュアルケア論」「スピリチュアリティ論」を少人数のゼミ形式で実施します。

臨床スピリチュアルケア協会との共同開催で、年に 4 回、東京都大阪で実施します。もしくは、東北大学大学院文学研究科の指定講義を受講することで、この科目の履修を認めます。

7. フォローアップ研修に参加

東北大学「実践宗教学寄付講座」は、臨床宗教師会と共同して年に 1 回のフォローアップ研修を実施しています。対象は、臨床宗教師研修修了者と、スピリチュアルケア・宗教的ケアを実践する諸団体の関係者です。

8. 試験

スピリチュアルケア専門職としての基礎知識の習得を確認し、最後の個人スーパービジョンを経て、学会に資格申請をするかどうかを決めます。

9. 日本スピリチュアルケア学会に資格申請（認定資格）

同学会に入会し、登録料を支払うなどの手続きが必要です。